

火災警報器の具体的設置例

※皆様のご家庭に当てはまる例を見つけてください



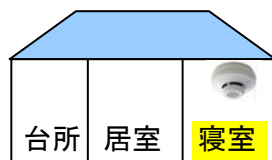
煙式警報器

基本的な設置例

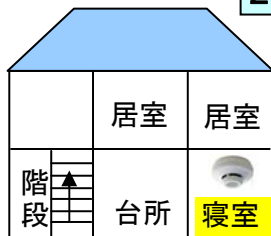
寝室 : 普段寝ている部屋に設置。(主寝室、子供寝室) ※来客時のみ就寝する部屋は設置不要

階段 : 寝室がある階の階段に設置(1階などの避難階には設置不要)

1階建て



寝室が1階のみ

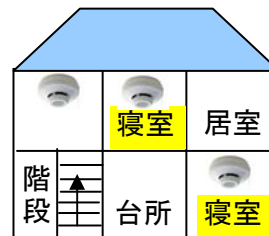


2階建て

寝室が2階のみ



寝室が1、2階



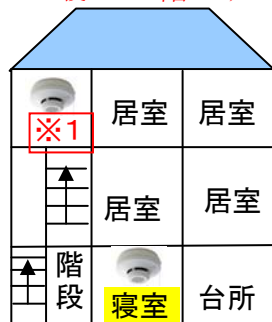
3階建て以上の設置例(階段に注目)

※1 3階建て以上の住宅で、寝室が1階のみで、その階から2つ以上の階に就寝以外の居室がある場合の最上階の階段に設置。

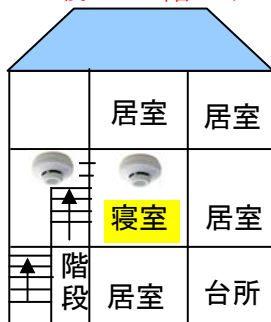
※2 3階建て以上の住宅で、寝室がある階から2つ下の階の階段に設置。(その直上階の階段に警報器がある場合は設置不要)

3階建て

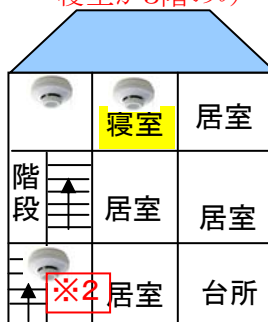
寝室が1階のみ



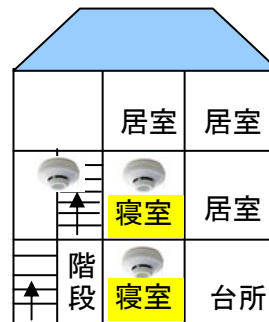
寝室が2階のみ



寝室が3階のみ



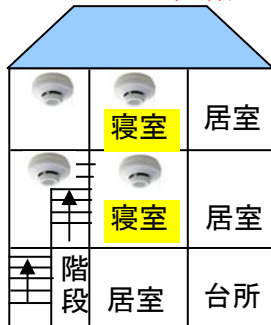
寝室が1、2階



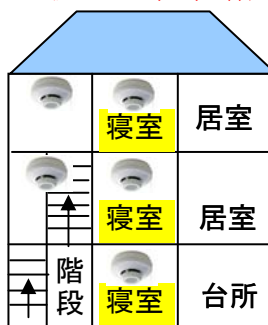
寝室が1、3階



寝室が2、3階



寝室が1、2、3階



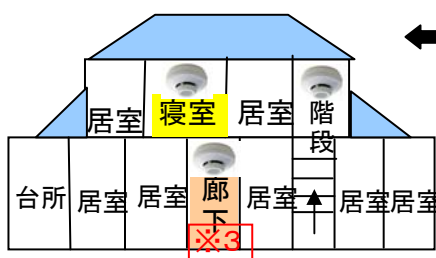
警報器を設置する住宅

- 戸建住宅
- 併用住宅 (住宅部分に限ります。)
- 共同住宅 (アパート、寄宿舍等で共有部分は除きます。)

※既にスプリンクラー設備、自動火災報知設備が設置されている場合は免除されます。

廊下に設置が必要な場合

一階に7㎡(4畳半)以上の寝室以外の居室が5以上ある場合



※3 一階に警報器を設置しなければならない場所がなく(寝室がなかった場合等)、その階に、7㎡(4畳半)以上の居室が5以上ある場合は廊下にも設置。(廊下がない場合は階段に設置)